

書くことと思、いるうちに年が明け、早・1月も
中旬、間が空いてしまいました。
さて、さて今年は何かテーマを決めようかと
考えている内に本棚の詩集が目にとまりました。
「そうだと私の好きな詩を紹介する」これもいい。
さ、そく目にとびこんできた「子どもの肖像」を……
新所沢幼稚園の国歌を作った

谷川 俊太郎 さんの作品です。

① 子どもにとって
5年という歳月は
おとなにと、この
50年にもあたる
かもしれぬ
その間の
はげしい変化に
おとなはどこまで
気づいているだろうか。

② 言葉にできぬものを
子どもたちの表情は
書き、ている
その表情は
どんなにみつめても
みつめ尽せない

③ 子どもが 得たものと
失ったものの
微妙なバランス……

谷川 俊太郎

幼稚園をとりまく状況は？

子ども園・長時間保育・無償化・給食
子どもをあずけるのが当たり前のように語られる
昨今、子どもの幸福は？ 子どもたちの未来は？
この詩をよんで大人の責任は？ 考えをしまいます。



新しい年号にする今年。

子どもたちにとって 幸福な年
になりますように。

と……書いていて 幸福、何だろう……？
考えをしよう 今日、このごろです。



楽しいことが
次々にやってくる 1981年だよー
そうしようね みんなで。



今年75才になります。若かりし頃 70代の母が
すること為すこと気になっていた私。お茶碗の洗いや
からほどまり何故こんななの？と怒うこと、ははは
母の悲しそうな表情がうかんでくる今日この頃。
今の私が母に云ったことをやっている、洗剤が多量に
だったり、氣を付けているのに出早でなかり、……と
100年の人からみると75才……まだ若い。
80代の人からみると70代……まだ若くしたと
ひと言いわれ……分ります。各々に残った事
ある事。その時がこないと分らない事とたまたま
ある年令の自命でありたい
この頃向道なという「しんとこっ子」今年も書けるだけ書きまーす！
氣まぐれ園長の氣まぐれ通信をお楽しみに。